

# 観光戦略・アクションプラン

ここでは、宇治市観光振興計画の目標である“宇治のブランド力”を高めるため、概ね10年先を見据えた観光戦略を5項目掲げ、戦略毎にアクションプランを記載しています。アクションプランは、5年以内に検討・実施できるものを掲げ、実施主体を明らかにしています。

## 1. 宇治茶ブランド活用戦略

宇治には「宇治茶」があり、全国的に高級茶としてのブランドが定着し、宇治と言えば“お茶”という都市イメージに繋がっています。市内には、覆下栽培など独特の茶園風景やお茶屋さんが軒を連ねる佇まいといった宇治茶ならではの景観が息づいており、宇治茶を味わうという観点からは、市営茶屋・対鳳庵での体験や、最近では抹茶スイーツの人気店なども増加しています。

さらに宇治市を含めた山城地域全体で、宇治茶のユネスコ世界文化遺産の登録へ向けた機運が高まってきています。日本・世界に誇れる“宇治茶”ブランドを活用・向上するため、宇治茶ブランドの活用戦略を促進します。

## 1-1 宇治茶に染まる観光の推進

JR宇治駅に降り立ったとき、“宇治茶”を感じられるものが少ないのが現状です。そこで、お茶の香りの演出や、どこでも宇治茶が飲めるサービスなど、宇治茶にどっぷりと染まってもらうための、施策を進めていきます。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>JR宇治駅を降りたら「お茶の香り」の演出</b> <b>【重点事業】</b> JR宇治駅前観光案内所に、お茶を焙じる機械を設置し、茶どころ宇治ならではの香りの演出をします。	観光協会 行政		調整 実施			
<b>お店でのお茶サービスの提供</b> お茶屋さん以外の店舗でも、お茶のサービスを奨励し、宇治へ来ればどこに行ってもお茶に染まれる環境整備に努めます。	事業者等		実施店舗の増加			
<b>給茶スポットの設置</b> マイボトルを持参している観光客に、急須で入れた宇治茶を給茶できるスポットの拡充に努めます。	事業者等		実施店舗の増加			
<b>市営茶室・対鳳庵での高級茶の提供</b> 市営茶室・対鳳庵で通常茶と高級茶の2種類のお茶を提供し、それぞれの良さを味わえる取り組みを検討します。	観光協会 行政		調整 実施			
<b>宇治茶の郷づくり構想の推進</b> 宇治茶をテーマとした山城地域一帯での観光プロモーションを推進します。	事業者等 観光協会 行政		継続実施			
<b>舟茶席の啓発</b> お茶どころ宇治だからこそ味わえる、宇治川とお茶席とのコラボレーションである舟茶席の魅力の啓発に努めます。	観光協会		利用者増			
<b>宇治川太閤堤跡の整備</b> 太閤堤跡の再現や体験型茶畑の設置、宇治茶の歴史や製茶工程等の紹介に加え、観光案内所を併設した施設を整備します。	行政		実施設計・整備			
<b>宇治茶体験マップの作成【重点事業】</b> 市内で茶摘み、お茶の淹れ方、茶香服、お点前、工場や茶園の見学等、宇治茶を体験いただける施設等を紹介します。	事業者等 観光協会		調整 実施			
<b>お茶屋さんマップの作成【重点事業】</b> 市内に多数あるお茶屋さんの歴史や特徴などを紹介します。	事業者等 観光協会		調整 実施			
<b>宇治茶スイーツマップの作成【重点事業】</b> 宇治茶を使ったスイーツを提供しているお店の自慢の一品を紹介します。	事業者等 観光協会		調整 実施			

### 1-2 宇治茶を活かした新たな食文化の開発・提供

宇治茶と言えば、高級茶のイメージがあり、アンケート調査でも知名度はありますが、それを目的に来宇される方は少ないことが明らかとなっています。そこで、高級茶のイメージを残しつつ、宇治茶を活用した新たな食文化・スイーツを開発・広報・提供することにより、間口を広げ、“宇治茶”を目的とした観光客を獲得します。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>宇治茶を使ったスイーツコンテストの実施、新しい名物の開発</b> 宇治茶を使ったスイーツコンテストを実施し、新しい宇治の名物となるお土産品等の開発に努めます。	事業者等	実施				
<b>「宇治の朝」の魅力を感じられる宿泊プランの検討</b> 宇治の朝、霧のかかる宇治川沿いを歩く、神秘的な体験をしていただくため、宇治茶を活用した朝食にスポットを当てたプランを検討します。	事業者等	調整実施				
<b>宇治茶を使ったご当地グルメの開発</b> 既成概念にとらわれない、宇治茶を使った新しいご当地グルメを開発し、一同に集めた販売などを検討します。	事業者等	開発			合同販売	

### 1-3 宇治茶を守り、後世に伝える事業の推進

宇治市内において、茶園やお茶の生産量は減少傾向にあり、他府県産のお茶についても京都府内業者による仕上げ加工等により宇治茶と認定されています。このままの状況であれば、生産者の後継者不足・生産者と卸売小売業者の関係性などの原因により衰退も懸念されます。

そこで、宇治茶を後世に伝え、守っていくための施策を進めていきます。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>宇治茶まつりなどの伝統行事の啓発</b> 宇治茶まつりや献茶祭、全国煎茶道大会など、市内で行われるお茶に関する伝統行事の啓発に努めます。	事業者等 観光協会	継続実施				
<b>“宇治茶”の世界遺産登録へ向けた取り組み</b> <b>【重点事業】</b> 宇治茶を世界文化遺産に登録できるよう、茶業関係者を中心に、地域全体で取り組みを進めます。	事業者等 行政	継続実施				
<b>宇治茶の消費拡大に向けた取り組み</b> 宇治茶の消費拡大を図るとともに、市民が宇治茶を楽しむ機会の拡充に努めます。	事業者等 行政	継続実施				

## 2. 豊かな観光資源の保全・活用戦略

本市には、平等院、宇治上神社の世界遺産をはじめ、日本の三禅宗の一つである黄檗宗の大本山・萬福寺、つつじやあじさいなど花のお寺として名高い三室戸寺、その他にも宇治神社や興聖寺など多数の社寺仏閣があります。また、平安時代をテーマとした源氏物語ゆかりの宇治十帖や太閤堤の遺跡発見など、豊富な歴史資源が存在しています。

また、宇治を特徴づける自然・文化遺産や伝統産業が凝縮した宇治川周辺地域は、国の重要文化的景観にも選定された地域であり、観光ネットワークの基礎となりうる景観資源が数多く存在します。

こうした豊富な観光資源を保全し、そのブランド力を活用した観光事業に積極的に取り組んでいきます。

### 2-1 世界文化遺産等の歴史遺産の活用

本市にある世界文化遺産や豊富な歴史遺産を活かした集客力を高めるため、後世に残す保全とともに、ブランド力やストーリー性を活かした観光振興に努めていきます。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>世界文化遺産ブランドの活用【重点事業】</b> 世界文化遺産である平等院と宇治上神社が持つ文化的な価値を保全するとともに、そのブランド力を活かした集客に努めます。	事業者等 観光協会 行政	 継続実施				
<b>豊富な歴史遺産の活用</b> 市内には黄檗山萬福寺や三室戸寺のほか多数の社寺仏閣があります。それぞれの特徴や歴史、ストーリーを活かした観光振興に努めます。	事業者等 観光協会 行政	 継続実施				

## 2-2 自然・景観の保全・整備

宇治川周辺の重要文化的景観を保全するとともに、十分に活用しきれていない現状の景観を観光振興に活かすための整備を推進します。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>宇治橋上流景観の保全・整備</b> 宇治を代表する景観の一つである宇治橋上流の景観を保全しつつ、防災上の観点からの改修事業を推進します。	行政	整備		整備完成		
<b>歴史的風致や重要文化的景観等の保全・活用</b> 歴史的風致維持向上計画に基づく各種事業を推進します。	事業者等 観光協会 行政	継続実施				
<b>大吉山公園の再整備</b> 市街地が見渡せる大吉山の展望台や休憩施設等の再整備を検討します。	行政	検討	方針決定			

## 2-3 源氏物語のまちづくりの推進

本市がこれまでも進めてきた、源氏物語をテーマにしたまちづくりを推進し、より一層の PR や各種イベントなどとの連携を強化し、集客増に向けた取り組みを推進します。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>源氏ろまん事業をはじめとする源氏物語関連事業の推進</b> 源氏ろまん事業をはじめ、これまで進めてきた源氏物語のまちづくりを推進していきます。	事業者等 観光協会 市民 行政	継続実施				
<b>源氏物語ミュージアム集客対策の強化</b> 源氏物語の魅力を観光客にもわかりやすく PRするとともに、各種イベント等との連携を図り集客力の強化に努めます。	行政	継続実施				

### 3. 観光コンテンツの開発と魅力向上戦略

本市には、多数の社寺仏閣や、豊富な歴史資源、景観資源が存在し、特に宇治川周辺は桜や紅葉のシーズンには大変な賑わいを見せています。

しかしながら、現状では宇治に来られる8割以上の方が平等院を目的に来訪されている現状があり、他の資源での集客力が乏しいと考えざるを得ない状況となっています。

そこで、宇治の魅力を向上させるため、新たな観光コンテンツの開発や、歩く宇治観光の推進、観光事業者個々の強化を進めていきます。

#### 3-1 新たな観光コンテンツの開発

現状の観光コンテンツだけに頼らず、宇治観光の新たな魅力を発掘・推進していくため、宇治川太閤堤跡の整備、舟運の研究、新たな土産物や食事の開発など、新たな観光資源を生かした観光コンテンツを開発します。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>宇治川太閤堤跡の整備（再掲）</b> 太閤堤跡の再現や体験型茶畑の設置、宇治茶の歴史や製茶工程等の紹介に加え、観光案内所を併設した施設を整備します。	行政	実施設計・整備				
<b>舟運活用の研究</b> 大阪城から伏見を伝い、宇治までの舟運航路の研究や舟運観光の可能性を検討します。	事業者等 観光協会 行政	研究・検討	方針決定			
<b>「宇治の朝」の魅力を感じられる宿泊プランの検討（再掲）</b> 宇治の朝、霧のかかる宇治川沿いを歩く、神秘的な体験をしていただくため、宇治茶を活用した朝食にスポットを当てたプランを検討します。	事業者等	調整 実施				
<b>歴史・ストーリーを発掘した観光振興</b> 宇治市にまつわる歴史やストーリーを市民から公募し、新しい観光コース等を作成します。	観光協会 市民	調整	募集	実施		
<b>観光動画コンクールの実施</b> 四季折々の宇治の素晴らしい風景や各種イベントなどの動画を募集、コンクールを行い、優秀作品については観光PRに活用します。	観光協会 市民 行政	調整	実施			
<b>フィルムコミッションの設立</b> 映画やテレビドラマ、CMなどのロケ撮影を支援し、映像化による宇治のイメージアップを図ります。	事業者等 観光協会 行政	調整	設立			

### 3-2 歩く宇治観光の推進

宇治の独特の景観や雰囲気をお客様に味わっていただくためには、市内を歩いてもらうことが最も魅力を感じるスタイルです。そこで、歩くための交通環境や公共交通の利便性向上等も含め、歩いて楽しめるまちの魅力を高めます。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>宇治川沿いや塔の島等へのベンチ等の設置</b> 歩いて宇治を散策されている方が、ほっと一息をつける場所の増設を検討します。	事業者等 観光協会 行政		要望	設置		
<b>商店街合同のスタンプラリーの実施</b> 観光客の多い中宇治地域の商店街等が連携したスタンプラリーを実施します。	事業者等 観光協会	継続実施				
<b>代官所跡を利用した通行手形の発行</b> 歩く楽しみの一つとして、代官所跡を利用した通行手形の発行など、観光気分を高める工夫を検討します。	事業者等		調整	実施		

### 3-3 観光事業者(商店街・個店)の魅力向上の推進

観光客の楽しみの一つには、観る観光だけでなく、“買う”“食べる”といった楽しみも大きな要素になっており、また来てみようというリピート効果にも繋がっています。そうした、立場を担っているのが、市内の商店街や個店であり、来られた方がまた来たいと思っただけの取り組みを進めていきます。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>観光商店街の活性化【重点事業】</b> 地元住民だけでなく観光客をターゲットにした商店街等の魅力を高め、まちあるきを楽しんでいただける商店街づくりを通じた地域の活性化を目指します。	事業者等	継続実施				
<b>魅力的なお土産・食事の開発強化【重点事業】</b> 各店舗において、魅力的なお土産やお食事のメニューの開発強化に努めます。	事業者等	継続実施				
<b>宿泊サービスの強化</b> 旅館組合組織を活性化させ、各団体との行事と連携した宿泊プラン等を提案し、魅力的な宿泊サービスを強化します。また、多様なニーズに対応した宿泊施設の検討を行います。	事業者等 観光協会		実施			
<b>異業種間連携等による割引サービスの実施</b> 各商店街をはじめ、駐車場、鉄道事業者、寺社仏閣などに協力を得て、セット券等割引サービスの普及に努めます。	事業者等 観光協会		調整	実施		
<b>各店独自の情報発信力の強化</b> 各店舗がそれぞれ個性で行ってみたいと思わせるHPやフェイスブックなどの作成に力を入れるとともに、取材等には積極的に対応し、情報発信に努めます。	事業者等	継続実施				

## 4. おもてなしの心を持った人材育成・環境整備戦略

観光客の方が、気持ちよく宇治のまちを満喫でき、「訪れてよかった、また来てみたい」と感じていただけるよう、「おもてなし」の心を持って迎え入れることが、リピーターの増加に繋がります。

そこで、観光事業者のおもてなし力の向上はもちろんのこと、市民自身にも観光地としての意識を醸成する必要があります。

また、人の力だけでなく、観光案内やアメニティー、バリアフリーといった、外国人をはじめ、どのような方でも、安全・快適に観光できる環境を整えます。

### 4-1 おもてなし力・市民意識の向上

市全体が「おもてなし」の心を持って、観光客を迎え入れるために、観光ボランティアガイドや市民自身のおもてなし力の向上や、外国人観光客に対する配慮等、ホスピタリティの向上に向けた取組を推進します。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>観光ボランティアガイドの有効活用</b> 観光ボランティアガイドの活動を支援するとともに、観光客の生の声を観光協会、事業者等に伝え、情報共有に努めます。	事業者等 観光協会 行政	調整 実施				
<b>「(仮)市民観光デイ」の制定</b> <b>【重点事業】</b> 市民に宇治市の良さを知ってもらい、ふるさと意識や観光客を歓迎する意識の醸成を図るため、各施設やお店で市民割引を設けるなど官民一体となった取り組みを行います。	事業者等 観光協会 市民 行政	調整	実施			
<b>市民向け宇治の魅力体験講座等の拡充</b> <b>【重点事業】</b> 市民に宇治の魅力を体感するとともに、理解を深めていただける講座等を拡充し、おもてなし意識の啓発に努めます。	観光協会 市民 行政	継続実施				
<b>学校教育における、宇治の歴史や文化、観光に触れる機会の強化【重点事業】</b> 学校教育の中で、宇治の歴史・文化、また観光の重要性について啓発していきます。	観光協会 市民 行政	継続実施				
<b>インバウンド対策協議会の設立【重点事業】</b> 訪日外国人観光(インバウンド)対策を積極的に進めるため、協議会を立ち上げ、総合的に対策を進めていきます。	事業者等 観光協会 行政	調整	設立			
<b>両替店、銀聯カード、クレジットカード利用店の増加</b> 外国からの観光客が気軽に飲食・買い物できるよう、両替店や銀聯カード、クレジットカードが利用できる店舗を増やします。	事業者等	実施				
<b>通訳サービス導入の検討</b> 訪日外国人が快適に旅行できるように電話通訳やタブレットを使用した通訳サービス等の導入を検討します。	事業者等 観光協会 行政	調整	実施			

<p>おもてなし講座や優良おもてなし認定制度の検討【重点事業】 店舗等のおもてなし力アップに向けた講座の実施や優良おもてなし認定制度等の発足を検討します。</p>	<p>事業者等 観光協会</p>	<p>調整 実施</p>			
---	----------------------	--------------	--	--	--

#### 4-2 観光案内の充実

全国から宇治へ観光に来られる人々に対して、必要とされる観光情報をよりの確に、簡単に入手できる環境を整備します。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<p><b>観光案内板・道標の再整備</b> 観光案内板等について、外国語表記の追加など再整備のガイドラインを策定し、整備を行います。</p>	<p>行政</p>	<p>検討・調整</p>		<p>策定 整備</p>		
<p><b>観光案内所の新設</b> 京阪宇治駅周辺の宇治川太閤堤跡に整備する施設内に観光案内所を新設します。</p>	<p>行政</p>	<p>実施設計・整備</p>				
<p><b>観光案内機能の強化</b> 観光センターや観光案内所をより観光客が利用しやすい環境整備に努めます。</p>	<p>観光協会 行政</p>	<p>調整 実施</p>				
<p><b>WiFi 環境の整備やスマートフォン等を活用した観光案内</b> WiFi 環境の整備やスマートフォン等を活用した観光案内の充実に努めます。</p>	<p>事業者等 観光協会 行政</p>	<p>実施</p>				
<p><b>民間駐車場での観光案内強化</b> 駐車場における観光案内機能の強化を図り、車で訪れる者に対する情報提供の充実に努めます。</p>	<p>事業者等 観光協会 行政</p>	<p>調整 実施</p>				

#### 4-3 安全・快適に市内を観光できる環境の整備

高齢者や障がいを持つ方をはじめ、どのような方でも安全・安心・快適に宇治を観光できるよう、歩行者にとってやさしいまちの整備等を推進していくとともに、観光シーズンの慢性的な交通渋滞を解消するための、施策や整備を検討していきます。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<p><b>交通渋滞解消に向けた検討</b> 交通渋滞解消に向け、パークアンドライドや県通りの一方通行などの社会実験を検討します。</p>	<p>行政</p>	<p>研究・検討</p>		<p>方針決定</p>		
<p><b>観光シーズンにおける駐車場の確保【重点事業】</b> 観光シーズンの駐車場不足を解消するため、市役所駐車場等の活用を検討します。</p>	<p>行政</p>	<p>検討 調整</p>	<p>実施</p>			
<p><b>店舗トイレの一般開放制度の検討</b> 観光シーズンのトイレ不足を解消するため、店舗トイレの一般開放制度を検討します。</p>	<p>事業者等 行政</p>	<p>調整</p>	<p>実施</p>			

## 5. 情報発信能力向上戦略

平等院は知っているけれど、宇治は知らない。といった声が多くを占め、京都市の一部と捉えられている方も多くいると思われ、外部への情報発信力が不足しているのは否めません。

そこで、“宇治”でしか味わえない良さを知っていただくために、あらゆる手段や機会を通じて、国内外に効果的に情報を発信していきます。

### 5-1 情報発信力の強化

様々な情報媒体や、IT等を活用した情報発信に加え、宇治市以外での土産物の販売など、様々な形での情報発信策を検討し、新たな観光客の獲得に努め、宇治の魅力を国内外へ効果的に発信できるツール・方法を充実させます。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>効果的な情報発信の在り方の検討・実施</b> <b>【重点事業】</b> 全国への情報、近畿圏への情報、宇治に訪訪されてからの情報など、それぞれのニーズに応じた情報発信に努めます。	観光協会	方針決定				
<b>フェイスブック等IT技術を活用した情報発信</b> フェイスブックやツイッターなど、新しいIT技術を活用した情報発信に取り組みます。	観光協会	継続実施				
<b>鉄道事業者や情報媒体への積極的な情報提供</b> 鉄道事業者や旅行情報誌等を活用し、全国等に向けた宇治の魅力的な情報提供を検討します。	観光協会	調整	実施			
<b>高速道路のサービスエリアや京都駅などでの宇治土産の設置拡充</b> 宇治の土産物を宇治以外で購入できる場を設け、観光都市・宇治の啓発に繋げていきます。	事業者等	継続実施				
<b>京都総合観光案内所「京なび」における宇治観光案内の強化</b> 京都へ来られた観光客を宇治に呼び込むため、「京なび」での宇治の取り扱いの強化を働きかけます。	観光協会 行政	要望				

## 5-2 観光プロモーションの強化

宇治のブランド力向上に向け、宇治らしさや宇治の魅力をきめ細かく、効果的に伝える新たなプロモーションの実施と、宇治だけでは満たされない、観光客の様々な要望や嗜好に応じるための広域での連携によるプロモーションを実施します。

アクションプラン	実施主体	実施年度				
		25	26	27	28	29
<b>京都市伏見と連携したプロモーションの実施</b> 宇治のお茶、伏見のお酒とそれぞれの特徴を活かした観光プロモーションを、交通事業者等とも連携して実施します。	事業者等 観光協会	継続実施				
<b>宇治市版「MICE」の推進</b> 太陽が丘や大学等を目的に来られた来訪者にも宇治の観光を楽しんでいただけるよう連携を図ります。	事業者等 観光協会 行政	調整 実施				
<b>宇治茶の郷づくり構想の推進（再掲）</b> 宇治茶をテーマとした山城地域一帯での観光プロモーションを推進します。	事業者等 観光協会 行政	継続実施				
<b>J R 奈良線の名称変更（愛称設定）の検討</b> J R 奈良線の名称について、より親しみやすい愛称を設定することについて検討します。	事業者等 市民 行政	研究・検討	方針 決定			
<b>春節観光客向けイベント等の実施</b> 観光閑散期の1月2月に春節休暇を利用してこられる台湾や中国、香港からの観光客に向けたイベント等を検討します。	事業者等 観光協会	調整	実施			

# 計画の推進に向けた取り組み

## 1. 組織等の役割

### 1 観光事業者等の役割

飲食業、お土産屋、宿泊業、社寺仏閣、茶業関連、観光に関わりを持つ各種団体などの観光事業者等は、宇治市の観光振興を推進していく原動力は自分たちであるという意識を持ち、観光客や市民に対して、宇治らしい個性的な最高の商品・サービスを提供します。

### 2 観光協会の役割

宇治市の観光情報発信の中心的役割を担うとともに、先進的な情報の収集と提供を行い、観光事業者等のレベルアップに努めます。また、様々な異業種間や各種団体間の連携、調整を行い、宇治市の観光を支えるプラットフォームとしての機能を果たします。

### 3 市民の役割

市民一人ひとりが、宇治茶や歴史、文化、自然に関する体験等を通じて、宇治市に誇りを持つとともに、観光のまちづくりに関心や関わりを持ち、国内外からの観光客をあたたく迎え入れます。

### 4 行政の役割

観光が本市の将来を担う主要産業の一つであると認識し、本計画の実現に向けた取り組みを進めるとともに、国や京都府などの関係機関等との調整を図り、観光協会等における取り組みを支援します。また、歴史や自然に育まれた宇治市の財産（歴史遺産、宇治茶、自然・景観、歴史文化など）を市民とともに共有し、次代に継承していきます。

## 2. 宇治市観光振興計画の進行管理に向けて

宇治市観光振興計画の目標である“観光都市・宇治のブランド力を高める”ためには、観光振興推進の主役である観光事業者等をはじめ、観光協会、行政、市民が協力し、それぞれの役割を果たしていくことが不可欠です。

また、本計画（PLAN）を「画に描いた餅」に終わらせることなく、目標を実現するための指針とするためには、計画の実行（DO）を観光事業者等をはじめ各種団体に促し、その進捗状況を点検（CHECK）し、計画時点では予測できなかった事象や課題等を踏まえた見直し（ACTION）にも柔軟に対応できる、PDCA による継続的な進行管理体制の構築が必要です。

そのため、本市の観光を支えるプラットフォームの役割を担う観光協会において、観光事業者や社寺仏閣、商工会議所、商店街、茶業関係者等で構成された「宇治市観光振興計画策定専門委員会」を、計画の進行管理を担う組織に改編するなどの対応が必要です。

また、本市においても、観光関連担当課で構成した「宇治市観光振興計画・庁内ワーキング」を発展的に解消し、構成員に観光協会を加えた新たな進行管理の組織を構築します。

観光協会と行政が観光振興を推進する両輪となり、本計画の推進を図るとともに、これまで以上に連携を密にすることにより、新たな課題等にも柔軟に対応していきます。

さらに、今回のアクションプランは、5 年以内に検討・実施できるものを掲げているため、後期アクションプランを策定する際には、目標の達成状況や各事業の効果等の検証を踏まえるとともに、その時代の社会経済状況等も勘案し、新たな課題等にも対応したアクションプランの策定を行うこととします。